

4 経営上の問題点

今期、直面している経営上の問題点を業種別に示したものである。

今回は前回と同様に、原材料・材料等仕入単価の上昇が上位にあり、割合も高い。ウクライナ情勢、中国のゼロコロナ政策の影響で原材料不足、原油価格の高騰で企業の調達コストが上昇している。

業種	順位	問題点	割合
製造業	1位	原材料価格の上昇	34.6%
	2位	人件費の増加	19.2%
	3位	事業資金の借入難	11.5%
建設業	1位	材料価格の上昇	24.1%
	2位	材料費・人件費以外の経費の増加	13.8%
	2位	従業員の確保難、民間需要の停滞	13.8%
小売業	1位	仕入単価の上昇	27.8%
	2位	消費者ニーズの変化への対応	19.4%
	3位	需要の停滞	13.9%
飲食業	1位	材料等仕入単価の上昇	39.5%
	2位	需要の停滞	13.2%
	3位	利用者ニーズの変化への対応、利用料金の低下・上昇難	10.5%
サービス業	1位	需要の停滞	18.2%
	2位	材料等仕入単価の上昇	15.2%
	2位	利用者ニーズの変化への対応	15.2%

5 取り組むべき経営課題

問題の解決に向けた経営課題を全産業平均及び業種別に示したものである。全産業で販路開拓が課題であることに変わりがない。前項で「材料等仕入単価の上昇」が問題となっていたことから、コスト削減も重要な課題となっている。また、アフターコロナ、事業再構築などの観点から、設備投資や新製品開発も課題として挙がっている。

業種	順位	経営課題	割合
製造業	1位	設備投資	22.7%
	2位	販路開拓	18.2%
	2位	コスト削減、新製品開発、技術開発	18.2%
建設業	1位	販路開拓	30.0%
	2位	コスト削減	25.0%
	3位	現場改善	15.0%
小売業	1位	販路開拓	33.3%
	2位	新製品開発	16.7%
	3位	人材募集、コスト削減	11.1%
飲食業	1位	販路開拓	26.3%
	2位	新製品開発	21.1%
	3位	コスト削減	15.8%
サービス業	1位	コスト削減	30.4%
	2位	販路開拓	26.1%
	3位	現場改善	17.4%
全産業平均	1位	販路開拓	26.5%
	2位	コスト削減	19.6%
	3位	設備投資	11.8%

中小企業景況調査報告書(清須市概略版)

(令和4年4月～令和4年9月期実績、令和4年10月～令和5年3月期見通し)

1 清須市商工会地区内における産業全体景況

産業全体は売上額DIが改善、採算DI、資金繰りDIは悪化

今期の産業全体における景況は、売上額DIが-8.1となり、対前期比で+15.5ポイント改善した。一方、採算DIが-31.1、資金繰りDIが-17.6となり、対前期比でそれぞれ-8.9ポイント、-3.7ポイント悪化した。

全産業で見ると、売上額DIは改善している。その要因は、コロナにより経済活動が止まることなくなくなってきたため。一方、採算DI、資金繰りDIが悪化している要因は、円安、物価高騰の影響で、仕入コスト等が上昇したため採算性が悪化し、資金繰りも厳しいものと考えられる。

次期は、売上高DIは悪化、採算DIは若干の改善、資金繰りDIは悪化する見通しである。

産業全体の主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	-8.1% (対前年比 14.1 改善)	次期予想	-14.9% (対前年比 8.7 改善)
・採算DI	-31.1% (対前年比 -17.2 悪化)	次期予想	-27.0% (対前年比 -4.8 悪化)
・資金繰りDI	-17.6% (対前年比 -14.8 悪化)	次期予想	-20.3% (対前年比 -6.4 悪化)

産業全体景況天気図

総評

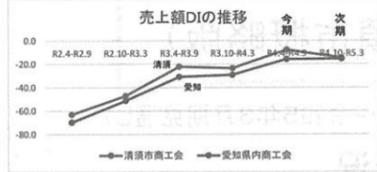


時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
2年4月～2年9月		-63.2% ↘		-52.6% ↘		-31.6% ↘
2年10月～3年3月		-47.3% ↗		-36.5% ↗		-29.7% ↗
3年4月～3年9月		-22.2% ↗		-13.9% ↗		-2.8% ↗
3年10月～4年3月 (前期)		-23.6% ↘		-22.2% ↘		-13.9% ↘
4年4月～4年9月 (今期)		-8.1% ↗		-31.1% ↘		-17.6% ↘
4年9月～5年3月 (見通し)		-14.9% ↘		-27.0% ↗		-20.3% ↘

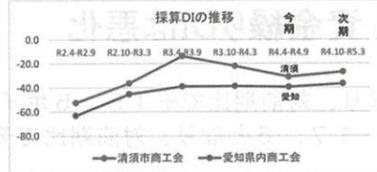
※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

2 愛知県内商工会(愛知県)と清須市商工会(清須市)との比較

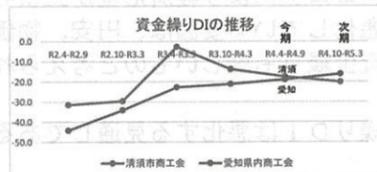
①売上DI
清須市は、前期から改善、愛知県も前期から改善しており、右肩上がり改善している。次期は清須市が悪化、愛知県は横ばいで、双方のDI値は概ね同水準となる見通し。



②採算DI
清須市は前々期から悪化傾向、愛知県はほぼ横ばい推移しており、双方の差は縮まった。次期は清須市が改善、愛知県も改善し、双方の差は横ばいの見通し。



③資金繰りDI
清須市は前々期から減少傾向、愛知県は改善の方向にあり、双方の差は縮まり同水準となった。次期は清須市が更に悪化、愛知県は改善の方向にあり、愛知県が清須市を上回る見通し。



【全産業平均】

売上DIの推移	今期		次期			
時期	R2.4-R2.9	R2.10-R3.3	R3.4-R3.9	R3.10-R4.3	R4.4-R4.9	R4.10-R5.3
清須市商工会	-63.2	-47.3	-22.2	-23.6	-8.1	-14.9
愛知県内商工会	-69.9	-51.3	-31.0	-29.3	-16.0	-15.7

採算DIの推移	今期		次期			
時期	R2.4-R2.9	R2.10-R3.3	R3.4-R3.9	R3.10-R4.3	R4.4-R4.9	R4.10-R5.3
清須市商工会	-52.6	-36.5	-13.9	-22.2	-31.1	-27.0
愛知県内商工会	-63.3	-45.4	-39.0	-39.9	-39.5	-36.9

資金繰りDIの推移	今期		次期			
時期	R2.4-R2.9	R2.10-R3.3	R3.4-R3.9	R3.10-R4.3	R4.4-R4.9	R4.10-R5.3
清須市商工会	-31.6	-29.7	-2.8	-13.9	-17.6	-20.3
愛知県内商工会	-44.3	-34.2	-22.9	-21.2	-19.0	-16.3

※愛知県内商工会の数値は、愛知県商工会連合会が作成する中小企業景況調査報告書(愛知県版)から引用

3 業種別景況

(1) 製造業

製造業は売上DIが改善、採算DI、資金繰りDIは悪化

製造業では、売上DIが0.0となり、+8.3ポイント改善した。採算DIが-18.2、資金繰りDIが-27.3となり、対前期比でそれぞれ-9.9ポイント、-35.6ポイントと大幅に悪化した。

コロナ感染による事業への影響は減り受注回復の傾向にあるが、ウクライナ情勢、中国のゼロコロナ政策、円安などの影響により原材料の供給不足、物価高騰などの影響で採算面で厳しくなっている。

次期は、売上DIが悪化、採算DI、資金繰りDIは横ばいの見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

売上DI	0.0% (対前年比 -8.3 悪化)	次期予想	-18.2% (対前年比 -9.9 悪化)
採算DI	-18.2% (対前年比 -18.2 悪化)	次期予想	-18.2% (対前年比 -9.9 悪化)
資金繰りDI	-27.3% (対前年比 -35.6 悪化)	次期予想	-27.3% (対前年比 -35.6 悪化)

製造業景況天気図



時期	売上DI	採算DI	資金繰りDI
2年4月～2年9月	-50.0%	-42.9%	-42.9%
2年10月～3年3月	-28.6%	-35.7%	-28.6%
3年4月～3年9月	8.3%	0.0%	8.3%
3年10月～4年3月(前期)	-8.3%	-8.3%	8.3%
4年4月～4年9月(今期)	0.0%	-18.2%	-27.3%
4年9月～5年3月(見通し)	-18.2%	-18.2%	-27.3%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(2) 建設業

建設業はすべての指標が悪化

建設業では、売上DIが-12.5、採算DIが-43.8、資金繰りDIが-37.5となり、対前期比でそれぞれ-12.5ポイント、-22.4ポイント、-16.1ポイントと大幅に悪化した。

全産業の中で、唯一売上DIが悪化している。原材料等の供給不足で工事が中断したり、中止となる影響が出ている。加えて、製造業同様、コスト高により採算・資金繰りが悪化している。

次期は、売上DI、資金繰りDIが更に悪化する見通し、採算DIは横ばいの見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

売上DI	-12.5% (対前年比 -12.5 悪化)	次期予想	-50.0% (対前年比 -50.0 悪化)
採算DI	-43.8% (対前年比 -43.8 悪化)	次期予想	-43.8% (対前年比 -22.4 悪化)
資金繰りDI	-37.5% (対前年比 -37.5 悪化)	次期予想	-50.0% (対前年比 -28.6 悪化)

建設業景況天気図



時期	売上DI	採算DI	資金繰りDI
2年4月～2年9月	-53.8%	-38.5%	-15.4%
2年10月～3年3月	-38.5%	-23.1%	-23.1%
3年4月～3年9月	0.0%	0.0%	0.0%
3年10月～4年3月(前期)	0.0%	-21.4%	-21.4%
4年4月～4年9月(今期)	-12.5%	-43.8%	-37.5%
4年9月～5年3月(見通し)	-50.0%	-43.8%	-50.0%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(3) 小売業

小売業は売上DI、資金繰りDIが改善、採算DIは悪化

小売業では、売上DIが-40.0、資金繰りDIが-13.3となり、対前期比でそれぞれ+6.7ポイント、+13.4ポイント改善した。採算DIが-40.0となり、対前期比-13.3ポイント悪化した。

売上DIは3期連続で少しずつ改善の方向に向かっているが、他産業同様に採算面では厳しい状況にある。

次期は、売上DI、採算DIが改善する見通し、資金繰りDIは横ばいの見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

売上DI	-40.0% (対前年比 20.0 改善)	次期予想	-26.7% (対前年比 20.7 改善)
採算DI	-40.0% (対前年比 -13.3 悪化)	次期予想	-33.3% (対前年比 -6.6 悪化)
資金繰りDI	-13.3% (対前年比 13.4 改善)	次期予想	-13.3% (対前年比 13.4 改善)

小売業景況天気図



時期	売上DI	採算DI	資金繰りDI
2年4月～2年9月	-58.8%	-52.9%	-29.4%
2年10月～3年3月	-62.5%	-25.0%	-25.0%
3年4月～3年9月	-60.0%	-26.7%	-26.7%
3年10月～4年3月(前期)	-46.7%	-26.7%	-26.7%
4年4月～4年9月(今期)	-40.0%	-40.0%	-13.3%
4年9月～5年3月(見通し)	-26.7%	-33.3%	-13.3%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(4) 飲食業

飲食業は売上DIが改善、採算DI、資金繰りDIは悪化

飲食業では、売上DIが17.6となり、対前期比で29.4ポイント改善した。採算DIが-29.4、資金繰りDIが-5.9となり、対前期比でそれぞれ-17.6ポイント、-5.9ポイントと悪化した。

前々期、前期とすべての指標が改善してきた。今期は売上DIが改善したものの、他産業同様に採算DI、資金繰りDIが悪化している。これらの要因は、経済活動が戻ってきたことで売上は戻っているが、原材料高騰等コスト高により採算性は悪化している。

次期は、売上DIが悪化、採算DIは改善、資金繰りDIは横ばいの見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

売上DI	17.6% (対前年比 70.5 改善)	次期予想	11.8% (対前年比 23.6 改善)
採算DI	-29.4% (対前年比 23.5 改善)	次期予想	-17.6% (対前年比 5.8 悪化)
資金繰りDI	-5.9% (対前年比 11.7 改善)	次期予想	-5.9% (対前年比 5.9 悪化)

飲食業景況天気図



時期	売上DI	採算DI	資金繰りDI
2年4月～2年9月	-88.9%	-77.8%	-44.4%
2年10月～3年3月	-70.6%	-76.5%	-47.1%
3年4月～3年9月	-52.9%	-52.9%	-17.6%
3年10月～4年3月(前期)	-11.8%	-11.8%	0.0%
4年4月～4年9月(今期)	17.6%	-29.4%	-5.9%
4年9月～5年3月(見通し)	11.8%	-17.6%	-5.9%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(5) サービス業

サービス業はすべての指標が改善

サービス業では、売上DIが-6.7、採算DIが-20.0、資金繰りDIは-6.7となり、対前期比でそれぞれ+43.3ポイント、+22.9ポイント、+21.9ポイントと大幅に改善した。

前期はすべての指標が急激に悪化していたが、今期はすべての指標がある程度戻った。売上DIの改善は、経済活動が戻り始めたことが主な要因と考えられる。採算DIは改善したものの、良い水準とはいえない。

次期は、売上DIは更に改善、採算DI、資金繰りDIは横ばいとなる見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

売上DI	-6.7% (対前年比 -13.8 悪化)	次期予想	6.7% (対前年比 56.7 改善)
採算DI	-20.0% (対前年比 -41.4 悪化)	次期予想	-20.0% (対前年比 22.9 改善)
資金繰りDI	-6.7% (対前年比 -35.3 悪化)	次期予想	-6.7% (対前年比 21.9 改善)

サービス業景況天気図



時期	売上DI	採算DI	資金繰りDI
2年4月～2年9月	-57.1%	-42.9%	-21.4%
2年10月～3年3月	-28.6%	-14.3%	-21.4%
3年4月～3年9月	7.1%	21.4%	28.6%
3年10月～4年3月(前期)	-50.0%	-42.9%	-28.6%
4年4月～4年9月(今期)	-6.7%	-20.0%	-6.7%
4年9月～5年3月(見通し)	6.7%	-20.0%	-6.7%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。